

緊急赤潮情報R6-4③

令和6年7月20日

大分県農林水産研究指導センター
水産研究部北部水産グループ

周防灘にてカレニア ミキモトイが警戒密度を超えて確認されました。
また、目視により中津沖（定点5）から長洲沖（定点11）まで広範囲に着色が認められました。

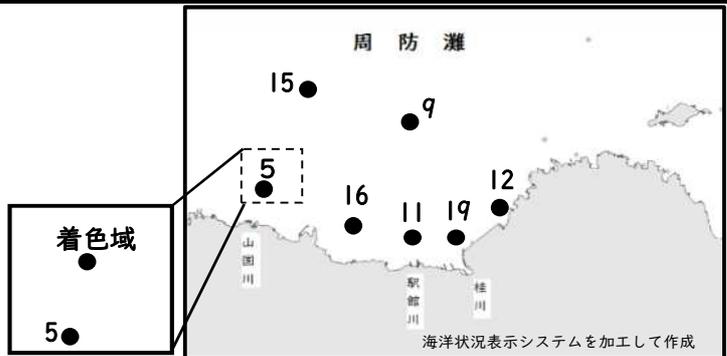
表1 周防灘赤潮プランクトン検鏡結果

調査日：7/20

採水地点	採水時刻	水深 (m)	採水層	水温 (°C)	塩分 (PSU)	カレニア ミキモトイ (細胞/mL)
5	10:04	12.1	0	27.4	28.44	105
			5	26.3	29.26	1,880
			B-1	24.3	31.05	4
11	11:05	11.6	0	27.9	28.63	5,400
			5	26.1	29.99	99
			B-1	25.1	30.78	0
12	8:37	11.2	0	28.0	28.13	1,180
			5	25.7	30.29	2
			B-1	24.8	31.00	0
16	10:42	9.2	0	27.6	28.73	23,200
			5	26.4	29.37	1,680
			B-1	25.2	30.71	36
19	8:11	11.1	0	28.2	27.97	1,000
			5	26.0	30.02	0
			B-1	25.2	30.72	0
9	9:11	16.8	0	26.8	30.04	1
			5	26.1	30.41	0
			10	21.6	32.30	1,480
			B-1	20.2	32.62	36
15	9:43	15.7	0	27.1	28.46	1
			5	25.5	30.68	0
			10	22.4	32.03	1,660
			B-1	20.6	32.51	18
定点5付近 (着色域)	8:53	-	0	27.4	-	22,200

カレニア ミキモトイ

- ・ 注意密度
200細胞/ml
- ・ 警戒密度
2,000細胞/ml



カレニア ミキモトイは非常に有害なプランクトンです。
以下の点を参考にして漁業被害の未然防止に努めて下さい。

(カレニア ミキモトイ赤潮の留意点)

- ①カレニア ミキモトイは、魚介類の斃死を引き起こす非常に有害な赤潮プランクトンです。
- ②特に、アワビ、サザエ等では海面が着色する前に斃死する可能性があります。
- ③本種は赤潮の初期には中・底層で増殖し、パッチ状になって上下動を繰り返

(赤潮発生時の留意点)

- ①特に、漁港内では高密度になる恐れがあります。漁港内での蓄養等は避けて活けメ出荷等の対策を講じて下さい。
- ②赤潮の発生や漁模様の変化などが確認された場合は、北部水産グループ、最寄りの県振興局水産班までご連絡下さい。

(最高細胞密度分布図)

